

ふれあい

FUREAI

特集

バスキュラーケアチーム



vol.200

2022 January

新年のご挨拶

謹んで新春のご挨拶
本年も仁愛会をどうぞ宜

挨拶を申し上げます。
しくお願いいたします。

あけましておめでとうございます。

旧年中はコロナ禍の中、社会医療法人仁愛会の運営にあたり、各施設のご利用者やそのご家族ならびに地域の皆様には、ご支援とご協力いただき心より感謝申し上げます。また、2023年12月に開院を予定している新病院の着工に関しては、いくつかの課題がありましたが多くの皆様のご支援のもと無事着工することができ、この紙面を借りて御礼申し上げます。

当法人もCOVID-19感染症に対して職員の頑張りもあり、病院は多数の重症患者の治療を行い(表1参照)、健診センターはコロナワクチンの集団接種を通常業務終了後に行い、在宅総合センターはその運営に積極的に参加して地域のコロナ診療の一翼を担えたのではないかと思います。

表1

項目	第1波 (4/7~6/2)	第2+3+4+5波 (7/19~)	累計
入院患者数	11名	457名	468名
人工呼吸器管理患者	6名	95名	101名
ECMO挿入患者	1名	6名	7名
気管切開術施行患者	2名	15名	17名
退院患者数	11名	457名	468名
死亡患者	1名	22名	23名

今年の1月に第6波の到来が予測されていますが、今年は3回目のコロナワクチン接種が始まり、内服の治療薬も使用できるようになるため重症者は減り、医療逼迫の状態にはならないように期待していますが、感染予防策は引き続き重要で細心の注意をお願いしたいと思います。また、COVID-19感染症以前の日常に戻るには時間がかかると思いますが、今年は新病院開院前の重要な1年で、法人としては働き甲斐のある職場を構築し、利用者の満足度向上を目指しながら、着実に新病院の開院の準備を進めていきたいと思っております。

今後とも地域の皆様に信頼され、ご満足のいただける保健や医療・福祉のサービスを提供できるよう職員一丸となって取り組んでまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

社会医療法人仁愛会
理事長 銘苅晋

令和4年 年頭のあいさつを申し上げます。

本年が世界に悪影響をもたらしたコロナ禍からの真の離脱の年であることを願うばかりです。ここ2年近くにわたり我々の医療圏でこの禍が与えた持続的な影響がそろそろ浦添総合病院にも訪れ始めることを想像し新たな年を迎えました。ここ2年間は、間違いなく当院ご利用の皆さまは「浦添総合病院は簡単に利用できる病院ではなくなってしまった」という感覚をお持ちかと思料いたします。実際にも解いてみると外来を利用された方も、入院された方もその絶対数は明らかに減少しました。同様の現象は当院の近隣で我々と共に地域医療を支えておられるクリニックや歯科医院、またその他の病院などの医療施設でも起こっていたことが判明してきております。幸いコロナに対してはワクチンの接種が進み、抗体療法や、その他の薬物療法も確立され始めており感染者数が増えても、重症化しその結果致死的になっている方の数は明らかに減ってきていることが実感されます。

コロナ前には当たり前のように行われていた住民の皆さまの受診行動が明らかに減少したことが昨年報告されております。その結果として未病の状態「症状はないが検査異常がある状態、または症状があるが検査異常がない状態」でより早期に発見されていたはずの、比較的早期の疾病をとらえる機会が減ったこととなります。この付けがそろそろまわってくるはずで、コロナ前の従前との比較では、より重症感の強い進行した状況で急病として突然発症する患者さんが当院を利用する機会が増えることが思料されます。当然我々としても従前にまして診療密度を上げてその需要にお応えすべく全身全霊で進みたいところではありますが、令和3年暮れどき、私自身の不徳の致すところですが、人員不足により一部の許可病床をフルに稼働することができない状況がございます。

ぜひとも我々の医療を支えるスタッフの人材不足を可及的に改善し、従前の診療体制を凌駕する状況で令和4年からの新たな地域のニーズに応えることのできる病院になるよう鋭意努力いたします。

令和4年が本誌を愛読いただいた皆さまにとり良い年となることを祈願し、新年のあいさつとさせていただきます。

浦添総合病院
病院長 福本泰三



理事相談役
宮城敏夫

明けましておめでとうございます。

2021年もまた、世界中がコロナ禍に翻弄^{ほんろう}された一年でした。11月29日現在の日本の2回目ワクチン接種率は76.7%、沖縄県は66.7%で、10ポイント低い状況は懸念材料です。8月の新型コロナ感染第5波では緊急事態宣言が発出されたにもかかわらず、医療崩壊の瀬戸際まで追いやられました。入院医療が必要な患者さんが自宅療養を余儀なくされ、孤独死に至ったケースが多数あり、新型コロナに対する医療提供体制の不備があらわになりました。今冬の第6波を想定して病床を3割増し、病床利用率を引き上げるための「見える化」等については12月中旬に発表するとしています。患者搬送・入院の体制は整備されても、十分な人材確保という点では不安が残ります。再び受け入れ拒否が起こらないことを願うばかりです。ワクチンの普及、治療薬開発の進展で緊急事態宣言の発出に関する指標が、新規感染者数を重視する従来指標から、病床の逼迫^{ひっばく}度合等による新指標(レベル0~4)に変更されました。都道府県は実情に応じて5段階で判断し、宣言の発出も行います。

こうした中、11月25日、南アフリカは新たな変異株を確認したと発表、11月26日、WHOは最も警戒レベルが高い「懸念される変異株(VOC)」に指定し「オミクロン株」と命名し、世界的な警戒対象となり、監視態勢を強化しているものの、11月30日時点の感染拡大はアフリカ以外では欧州8カ国、イスラエル、カナダ、オーストラリア、香港に拡散しており、オミクロン株に対する接種したワクチンの効果の程度や重症化率等も分からないため、引き続き用心が必要となっています。これまでと同様、私たち、個人の感染防止対策を遵守してまいりましょう。

皆様方が健やかで幸せな年となりますよう、力を合わせてまいりましょう。



健診センター院長
小島正久

皆さま明けましておめでとうございます。今年も健診受診者および仁愛会の方々が健康で良い年を迎えられることを祈っております。

2年目に入ったコロナ禍はオリンピック後の第5波により全国で自宅死亡者が増え医療崩壊に近い状態にまで追い込まれました。沖縄は6月から4か月間緊急事態宣言が続き、健診センターでは6~7月に仁愛会の総力を挙げて、浦添市の高齢者ワクチン接種事業に協力致しました。10月からは感染者数の減少と緊急事態宣言解除により、健診受診の申し込みが増えてきました。このまま大きな波が来ないことを願っています。主な健診事業者の心配は新型コロナを恐れ、引きこもりや運動不足、友人知人との交流減少、沖縄では観光業への打撃も加わり体調を崩す方が増えていることです。我々に課せられた役割は日常を取り戻し、心身ともに元に戻るよう、社会と一体になってお手伝いをすることです。また全国の癌治療病院のデータでは早期癌の比率が2割程減少しており、これは癌検診受診控えや要精査の指示が出たにもかかわらず、精査を控えている恐れが推察されます。沖縄で特に増えている大腸癌や乳癌は検診だけで最終診断はつきません。是非専門医の精密検査を受け、検診を完了させて下さい。昨年新型コロナウイルス感染症対策のため入館時の体調チェックが厳格で、当日受診をお断りした事があり、申し訳ございませんでしたが、健診受診による新型コロナウイルス感染症は発生しませんでした。今年も引き続き感染予防対策と三密を防ぐ分割予約制をもって、皆様の健診受診を職員一同心よりお待ちしております。

明けましておめでとうございます。令和4年の新春を謹んでお慶び申し上げます。旧年中は、在宅総合センターの運営に多くのご支援ご協力をいただき誠にありがとうございました。昨年も新型コロナで始まり、新型コロナで終わってしまいましたが、とても素晴らしい経験もしました。それは、行政と協力して、浦添市民向けの新型コロナワクチンの接種を実施したことです。まさしく当法人の理念の下、職員が一丸となり、事業体、職種、立場を超え、社会的使命を果たせたことは、当法人はもとより、職員一人一人の財産になったと思います。そして、何より新型コロナワクチンという対抗策があったおかげで、疾患のある高齢者や障がい者をケアする当センターでは、ご利用者や職員の不安が解消され、少しずつ日常へ戻りつつあります。

当センターでは、状況の変化が激しいコロナ禍で私たちのやるべきこと(使命)を職員一人一人が再確認できるよう『ブランディング(自部署の強みを見つめなおす)』を実施しました。各部署からキャッチフレーズやスローガンも出て、改めて原点に立ち、気を引き締める機会になりました。その延長上で、当センター紹介動画を作成し、法人ホームページに掲載しましたので、よろしければご参照ください。また、法人内で職員みんなを応援する応援団『One'nu team』を結成し、『どんなことがあっても仲間がいれば乗り越えられる』を合言葉に活動も始めました。当たり前の生活(コロナの前の生活)では見えなかったもの『絆』の存在を感じる一年になりました。

一昨年からは始まった新型コロナ感染拡大という大きな波が何度も押し寄せ、そのたびにご利用者の皆様やご家族、関係者の皆様のご支援、ご協力の下、何とか乗り越えることができました。皆様方におかれましては、感謝の言葉しか言い表すことができません。この場をお借りしてお礼を申し上げます。今後とも皆様方におかれましては、昨年同様ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。



在宅総合センター長
古謝早苗

あけましておめでとうございます。

幸多き新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。皆様のご健康とご多幸を心からお祈りいたします。

昨年はコロナ禍により、感染対策に追われた一年となってしまいました。患者さまやご家族の皆さまには、面談ができないなど大変なご不便や大変つらい思いをさせたことをこの場をかりてお詫び申し上げます。

また、その中において大変多くの方々から励ましのお言葉を頂きました。改めて心から御礼申し上げます。

本年も、引き続き万全の感染症対策を講じ、安心で安全な医療提供ができるように努めてまいります。

浦添総合病院は42年を迎え、利用者さまの満足を満たすことが機能的にも難しくなっています。去年6月に新病院移転に向けた工事が無事スタートできたことは何より職員の励みとなり、うれしい出来事でありました。多くの方々のサポートに深く感謝を申し上げます。2023年12月の開院に向け、職員一丸^{まいしん}となって邁進してまいります。

今年度は、全職員が同じゴールを目指して行動する組織、「利用者が満たされ、職員が満たされ、その結果として選ばれる法人」「地域になくしてはならない病院」を目指し、努力を続けてまいります。この新しい年が、皆さまにとって良き年となりコロナ禍の一刻も早い終息を心から願ひまして、年頭の挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



管理本部長
伊波芳裕

バスキュラーケアチーム



『歩く』ことは、QOLの観点からも非常に重要です。

はじめは、歩いたときに足の痛みやしびれを伴うようになり、歩くのをやめると症状はよくなります。ひどくなると、安静にしていてもしびれや痛みが出現するようになり、足に潰瘍ができたり、壊死したりすることもあります。当院では、そういった症状に対して、各診療科が連携し、治療が必要な患者様のニーズに応えられるよう院内の体制整備を行い、バスキュラーケアチームを結成しました。末梢動脈疾患に関わらず、心血管疾患の診療(狭心症、不整脈などの心臓疾患)や脳血管疾患の診療(頸動脈狭窄、脳血管病変)に関しても治療体制を強化しています。末梢動脈疾患、心血管疾患、脳血管疾患の早期診断・治療を目指しチーム一丸で取り組み、満足して頂ける病院を目指しております。

閉塞性動脈硬化症

全身の血管に対する治療と評価が大事

心臓や脳の血管が動脈硬化で狭くなり詰まることで、心筋梗塞や脳梗塞を発症することはよく知られていますが、足の血管も例外ではありません。足の血管が動脈硬化の進行により、血液の流れが悪くなる病気を閉塞性動脈硬化症といいます。一定の距離以上を歩くと足に痛みが生じて歩けなくなったり、さらには足への血液の流れが著しく低下し、安静時にも痛みが出たり、皮膚に潰瘍が生じ細菌に感染し壊疽にまで進展し、最悪の場合には足の切断が必要となることもあります。また、閉塞性動脈硬化症の患者さんは、全身の動脈硬化が進行していることが多く、半数の方が心筋梗塞などの心疾患、4分の1の方が脳梗塞などの脳血管疾患を合併しているといわれ、心臓や脳の疾患が原因で死に至ることもあります。そのため、閉塞性動脈硬化症をきちんと診断し、必要があれば足だけでなく全身の血管に対する適切な評価、治療を行う事が非常に大切です。



足の血流が悪いまま放置すると壊死してしまいます

検査

- 下肢エコー検査
- CT検査
- MRI検査
- ABI検査
- SPP検査

ABI検査とは…

手と足の血圧を比べて足の血の流れを調べる検査です。横になって上肢と足首に機械を装着して5分ほどで終わります。



SPP検査とは…

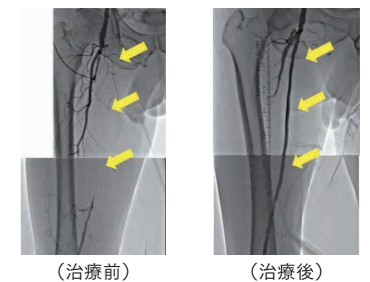
手足あるいは指先の皮膚にどの程度血液が行き渡っているか調べる検査です。横になり、足の血流を測る場所にセンサーを置きます。



治療

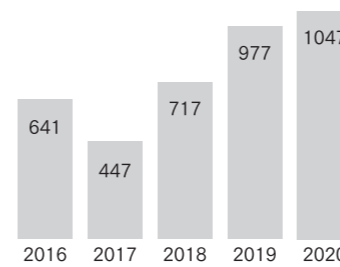
治療の基本となるのは薬物療法です。薬物療法としては、血管を拡張したり、血液を固まりにくくしたりすることで血液の流れの改善を期待する薬物が使用されます。重度の末梢動脈疾患に対しては、カテーテル治療・バイパス治療を行います。

下肢血管内治療

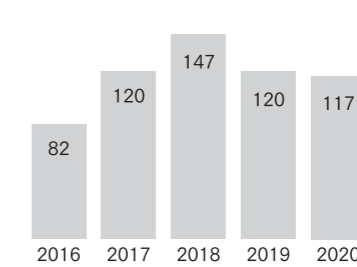


治療実績

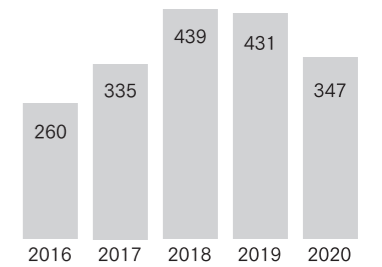
▲ 心臓カテーテル検査



▲ 末梢血管形成術



▲ 冠動脈形成術



※2020年は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、外来および入院の制限により件数が減少していますが、現在は戻りつつあります。

Doctor's Voice



治療が多岐にわたるため、医師、看護師のみならず、臨床検査技師、理学療法士などのさまざまな職種からなるバスキュラーケアチームで患者さん一人一人に合った治療を行う必要があります。浦添総合病院においても、疾患に精通したスタッフでチームを構成し、一丸となって治療にあたっています。いつでもお気軽にご相談下さい。

循環器内科
副部長(末梢血管領域) 宮城直人

循環器内科 副部長(虚血領域) 知念敏也(右)
循環器内科 医長 阿部昌巳(左)





形成外科医 × 皮膚・排泄ケア認定看護師

形成外科 玉城秀行(右)
看護の質向上室 石川千香(左)

形成外科では、たくさん傷を扱っていますが、その中の一つとして下肢の難治性潰瘍があります。難治性潰瘍とは治りが悪い傷のことです。特に糖尿病や心疾患の持病がある方は、血管が細くなっており、傷を治すのに十分な血流が確保できていない事から注意が必要です。また、下肢はぶつけて傷を受けやすいため、時に悪化し治療に難渋するため早期的な介入が必要となります。そのため、バスキュラーケアチームへ迅速な情報提供を行い、早期治療へと繋がるように、病棟看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師と協力しながら介入していきたいと考えています。難治性潰瘍についてお困り事がございましたらいつでも気軽に声をかけてください。



糖尿病内分泌科医 × 糖尿病看護認定看護師

糖尿病内分泌科部長 難波豊隆(右)
看護の質向上室 前川スミ子(左)

糖尿病の慢性合併症は大きく分けて大血管症と細小血管症に分類されます。

大血管症は脳血管障害、冠動脈疾患、末梢血管障害など動脈硬化性疾患を指します。細小血管症は網膜症、腎症、神経障害が3大合併症と呼ばれています。

糖尿病性足病変は、末梢神経障害と血流障害により、足の小さな傷から潰瘍を形成し、下肢切断に進展するケースがあります。水虫などの皮膚病変が感染源となり、同様の経過を辿る事もあります。

たかが小さな傷、たかが水虫と思わず、足の小さな変化にも気付けるよう自分の足に興味を持って下さい。足を守るために予防が大切です。もし気になる事があれば糖尿病センターへご相談ください。



臨床検査技師

臨床検査部 主任 澤岬かすみ

高齢化や生活習慣病の増加に伴う動脈硬化等の脈管疾患は年々増えています。その背景において、医療は効率的で正確な評価を、早く行う必要が出てきます。臨床検査技師の中でも“生理検査”と呼ばれる部門で働く私たちは、血管評価に関わる検査を集約し効率良くかつ精度良く診断し治療に導きます。主な検査でABI検査(足関節上腕血圧比)は動脈の硬さや詰まりを反映する指標、頸動脈エコーは全身の動脈硬化の程度を表す指標、心エコーは心臓の基本的機能を判断する検査とさまざまな検査を担当しています。必要とする情報を少しでも早く正確に報告するために連携を図りながらチーム医療サービスを提供して行きます。

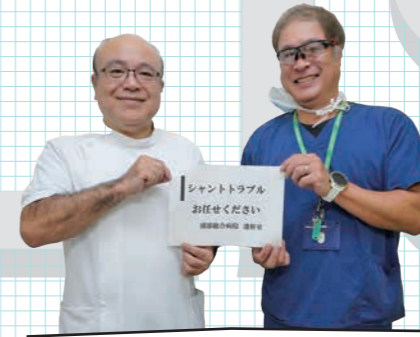


理学療法士

リハビリテーション部 主任 久貝尚仁

当院では主に入院患者さんを中心にリハビリ業務を行っています。閉塞性動脈硬化症は歩くときに痛みが強くなり休むと痛みが改善します。腰から来る病気との鑑別が必要となりますので注意が必要です。腰から来る場合は座って前屈みになると改善するのが特徴です。

血管が詰まり歩くと痛くなる原因としては歩くときに必要な血液量が20倍必要といわれており血管が詰まっているところに多くの血液が流れ込むために痛みが出るといわれています。そのため運動療法としては痛みが強くなったら休み、治ったら歩くことを繰り返しながら行っていきます。安静時痛や潰瘍などがある場合はリハビリ適応外となる事がありますので主治医と相談してください。



腎臓内科医 × 血管診療技師(看護師)

腎臓内科 部長 上地正人(左)
一般外来 池田健司(右)

血液透析を行うには1時間に約150~200mLの血液を体の中から取り出して装置に循環させ浄化した血液を体に返す必要があります。通常の静脈ではそれほど多くの血液を短時間に取り出すことは難しいので、血液を取り出すために腕の動脈と静脈をつなぎ合わせる手術(シャントまたはバスキュラーアクセス)を行います。

シャントは透析患者様にとっては命綱でもありますので、シャント音や拍動が弱くなるなどトラブルの徴候があれば早めに治療を行うことで、治療時間や苦痛も比較的少なく長期開存も期待できます。当院ではトラブルの徴候があれば速やかにバスキュラーケアチームと連携し円滑に治療介入できる体制を整えておりますのでお気軽にご相談ください。



看護師 (ゲートキーパーナース)

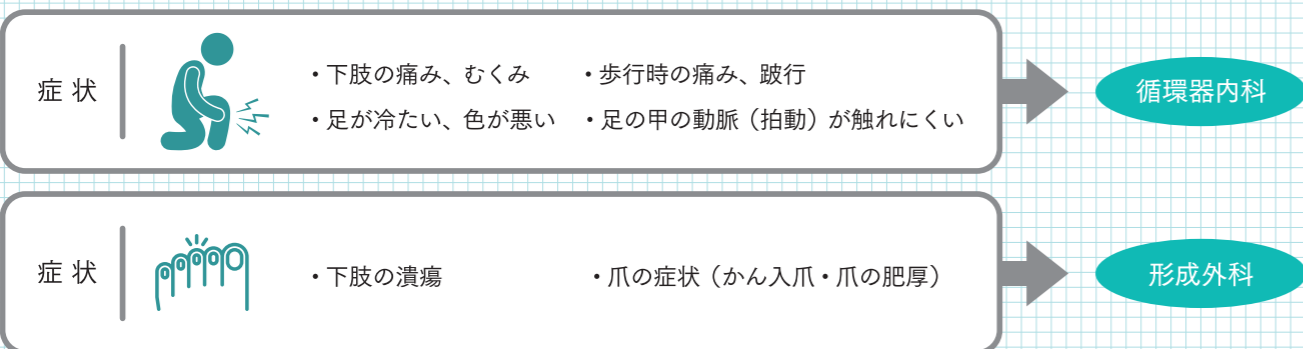
一般外来 師長 喜納薫(左)
一般外来 副主任 呉屋さゆり(右)

私(呉屋)は現在、一般外来で副主任としての役割を遂行しているかわら、手術室勤務時代から形成外科外来担当を合わせ約8年間形成外科領域で培った経験と、持ち前の明るさ、コミュニケーション能力を活かし、バスキュラーケアチームのゲートキーパーナースを担っています。患者さんの下肢病変に至った要因をアセスメントし、早期発見・早期治療・再発予防に努め、それぞれの専門領域の垣根を超えて一人でも多くの患者さんの救済とQOLの維持につながるケアができるよう常に患者さんに寄り添った看護を心がけています。

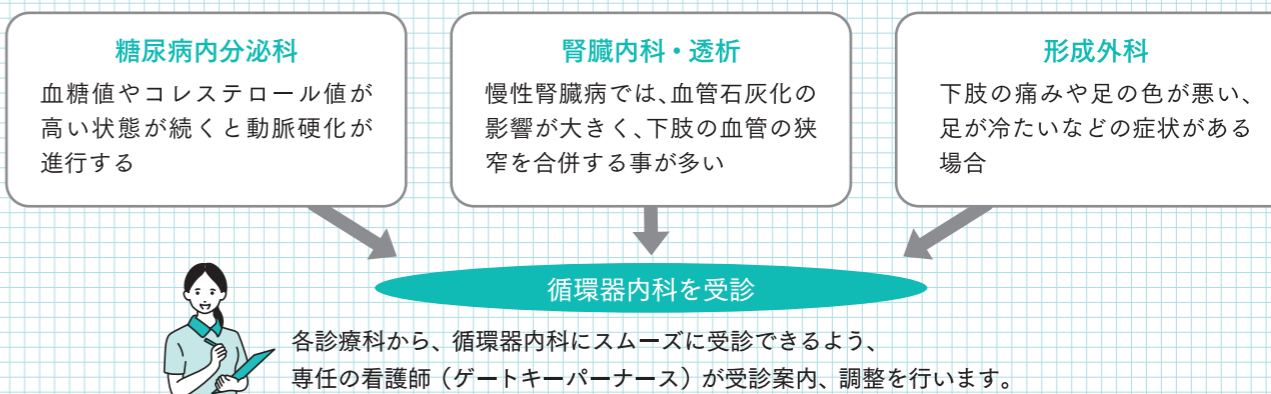
足のことでお困りなことがありましたら、いつでもお声かけください。

かかりつけ医より紹介された患者さま

かかりつけ医療機関から紹介を受け、各診療科外来を受診します。症状によって受診する診療科が異なります。



当院通院中の患者さま



～ Trick or Treat ～ ハロウィーン仮装パーティーイベント開催！



お菓子を入れる
バッグも子どもたちで
一生懸命作りました！



「Trick or Treat(トリックオアトリート)お菓子をくれなきゃいたずらしちゃうぞ！」

ハロウィーンの有名なセリフを連呼しながら、それぞれかわいい衣装を身に付け、笑顔で真栄原公園周辺を行進。保護者や看護部の皆さま、そして保育園近くのケーキ屋さん「マキシムオキナワ」さまからもらったお菓子が入っている袋を見せ合いながら「お菓子たくさんもらったよ」「このお菓子

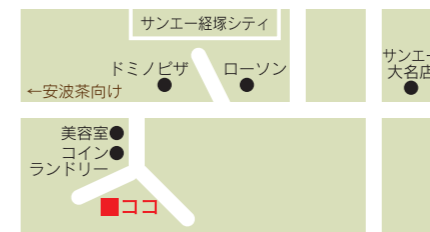
をあげる」ととても満足していました。その楽しんでいる姿を見て保護者も職員も「うれしかった～」「とても良かった～」と笑顔に。園児にたくさんのお菓子の準備をして頂いた保護者の皆さま、看護部の皆さまそして特別にお菓子を用意して頂いたマキシムオキナワの皆さまほんとうにありがとうございました。

保育事業室事務長 平良哲哉

浦添市地域包括支援センターさっとん 移転しました！

平成28年7月に浦添市から委託を受け仲間(てだこそば隣)で事業をスタートした浦添市地域包括支援センターさっとんは、12月1日に浦添市立経塚ゆいまーるセンター2階へ移転しました。

ゆいまーるセンターは、経塚自治会、経塚児童センター、浦添中学校区保健福祉センターが入る浦添市の複合施設になっています。今まで以上に、皆さまが利用しやすいセンターをめざし、関係機関と共にさまざまな事業に取り組んでいきます。



浦添市地域包括支援センター さっとん
センター長 肥谷菊乃

らくだ+プラス(訪問介護自費サービス) 始めました♪

在宅総合センターで介護保険や障害福祉サービスとして訪問介護事業を行っている、『ヘルパーステーションらくだ』では、10月1日から自費サービスを開始しました。保険外のサービスなので、さまざまなご要望にも柔軟に対応させていただきます。

- ・年末年始なので大掃除をしたい
- ・ゴミ出しをお願いしたい
- ・病院受診に付き添ってほしい
- ・電球の交換や庭の掃除、買い物
- ・台所やトイレの掃除
- ・入浴の手伝いやオムツ交換～ベッドのシーツ交換など

浦添市内全域、那覇市や宜野湾市の一部地域対象ですが、年齢制限はありません。まずはお気軽にご相談下さい。

※事前にサービス内容や時間の調整と契約を交わし、サービス開始となります。

料金表

曜日 月曜日～金曜日 時間 30分～60分(相談可能)



家事・生活援助
コース

30分 ¥1,650
1時間 ¥2,750



身体ケア
コース

30分 ¥2,200
1時間 ¥3,300



外出支援
コース

1時間 ¥3,000

※全コースともに延長30分毎に¥1,500の追加料金が発生します

【お問い合わせ先】ヘルパーステーションらくだ TEL:098-870-1026 担当:桃原

～ 一致団結みんなの笑顔がもっとうしょう～

運動会で未来のオリンピック選手誕生!?

沖縄の伝統芸能
であるエイサーも
披露したよ！



11月14日(日)、もこもこ保育園・にこにこ保育園合同運動会が2年ぶりに開催されました。当初は9月19日(日)に開催予定も新型コロナウイルス感染症の影響で延期となり、前年度に引き続き開催中止することも検討していましたが、練習に励んだ園児たちの姿を、保護者の皆さまにどうにかして伝えたいという思いが届いたのか、11月には緊急事態宣言が解除され、感染対策を徹底し開催することができました。今年話題となった「オリン

ピック」をテーマに、エイサーや空手、リレーや障害物競走、組体操やダンスなどさまざまな種目に取り組みました。保護者の皆さまからも「子どもたちの一生懸命な姿を見ることができて良かった」と喜びと感謝の言葉をたくさん頂きました。何よりも元気いっぱい子どもたちからたくさんのパワーをもらった運動会でした。

保育事業室 田中愛美

「患者さんの一番の理解者になる」 腫瘍治療病棟を目指して

当院では、これまで臓器別、診療科別でそれぞれの病棟に入院し、がん診療を行っていましたが、2019年6月からがん医療に関する入院対応を一つの病棟に集約化し、初期治療から緩和治療までのがん看護、ケアを提供する運びになりました。

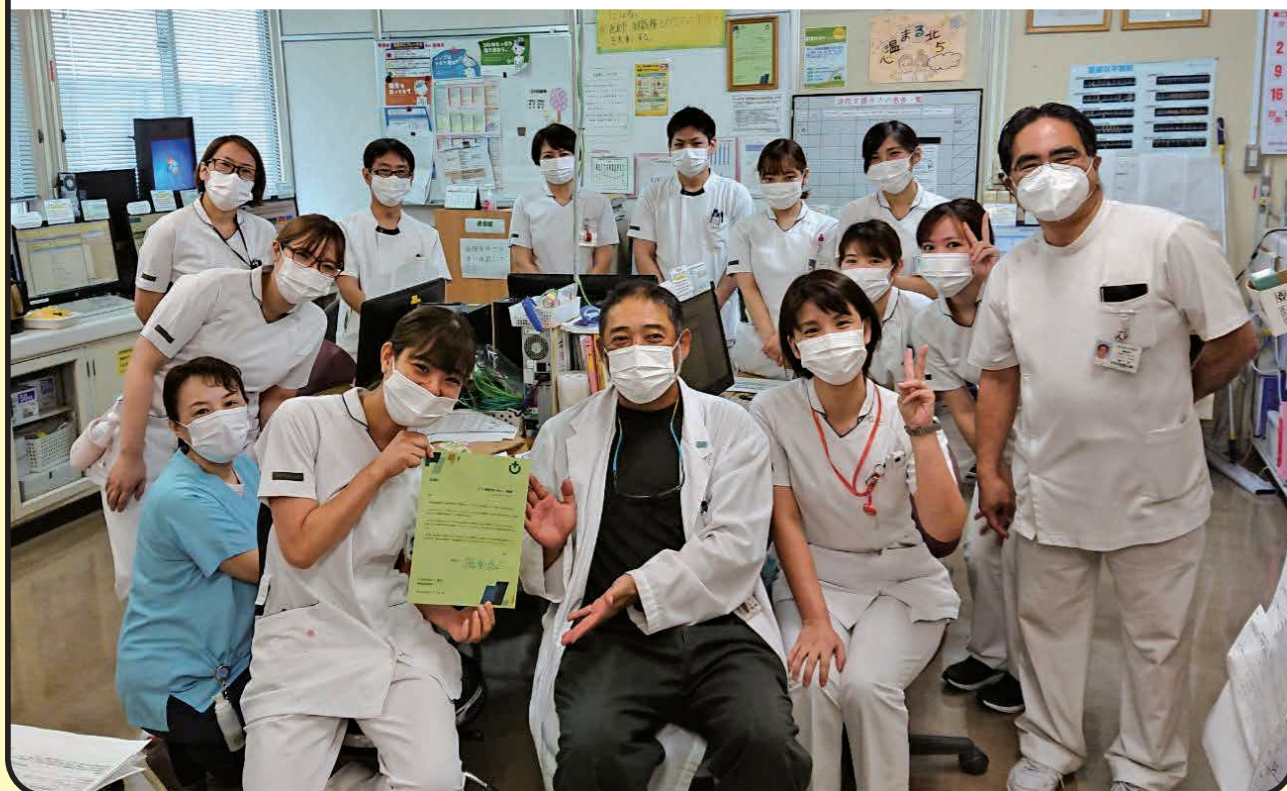
それまでは、乳がんを中心とした混合病棟であった北5階病棟ですが、少しずつ対応できるがんを増やしてきました。2020年8月には消化器外科のがん治療(手術)を受け入れ、現在は消化器がん全般、肺がん、乳がんの治療に携わるまでになりました。ここに至るまで多くの医師、認定看護師、他部署の看護師、リハビリ、薬剤師、栄養士に協力していただき、周術期、化学療法、緩和治療における看護を提供できるようになりました。入退院を繰り返す中で患者さんや家族を理解して関わることができていると思います。

当部署の目標として、「患者さんの一番の理解者になる」を掲げています。日頃から多職種

で連携を取り、目の前の問題や、今後起こりうる事を考え患者さんにとって何が一番幸せかを思いながら、日々の看護を提供しています。患者さんの幸せを強く思うあまり、時には厳しく激励し手術後の患者さんを早期から離床させるスパルタ看護師にもなります。当部署の一番の取柄は、どんな忙しい状況下であっても、痛みやつらさを見逃さず、苦痛を共感し医師、リハビリ、栄養士、薬剤師、認定看護師など多職種と協働してしっかりと向き合って対応することができるチームワークだと思えます。

がんを患った患者さんや家族は告知された時から治療が終わるまで、そして治療が終わった後も、生存率などもあり不安は払拭できないと思います。がんと診断された時から安心して治療ができ、ささいな事でも一緒に考えられる場所を築いていけるよう精進してまいります。

北5階病棟師長 大城朋子



あったか } ロールキャベツ

明けましておめでとうございます。年末年始、食べ過ぎで胃腸が疲れていませんか？お正月料理の疲れた体を守るため、今回は、胃腸にもやさしいあったかロールキャベツを紹介します。



栄養量 (1人分)	
エネルギー	249.4cal
たんぱく	15.4 g
脂肪	12.9 g
炭水化物	18.4 g
食物繊維	3.2 g
塩分	1.5 g

作り方

- ①キャベツの芯の部分に切り目を入れて、沸騰している湯の中で1枚1枚はがして冷やす。硬い部分はそぎ取り包みやすくしておく。(ゆで汁は、煮込む時使用)
- ②たまねぎ、生しいたけ、そぎ取ったキャベツの葉の硬い部分は、みじん切りにしておく。
- ③豆腐は、手でくずして水切りをしておく。
- ④ボールに豚ひき肉、塩、こしょうを入れ、指先で混ぜ、溶き卵、②③もよく混ぜ合わせる。8等分にして丸めておく。
- ⑤キャベツの葉の中に④のタネを入れ、きっちりと巻いて包む。(ようじで留めると形が崩れにくい)
- ⑥鍋に⑤の巻き終わりを下にして並べ、キャベツのゆで汁、コンソメ、塩、ローリエを入れ、中火で煮立て、アクを取り、ふたをして弱火で30分～40分間煮る。
- ⑦じゃがいもは二等分し、皮の部分に十字を入れてゆでる。ミニトマトは軽く湯にくぐらせ皮をむく。
- ⑧器にロールキャベツを盛り付け煮汁をかけ、じゃがいもを添え(バター)、ミニトマト、ミントで飾り、出来上がり。アツアツをお召し上がり下さい。

<材料4人分>

キャベツ(1玉)	8枚
たまねぎ	60g
豚ひき肉	160g
生しいたけ	40g
豆腐	160g
こしょう	少々
塩	0.5g
卵	1個
コンソメ	2個
ローリエ	2枚
(付け合せ)	
じゃがいも	2個200g
バター	3g×4
ミントの葉	
ミニトマト	4個

POINT
脂質の多い豚ひき肉をさや身に換えると-5.7g脂質ダウンします。

冬キャベツ



キャベツはアブラナ科の植物、原産地はヨーロッパ。キャベツの魅力は、いろいろな料理にアレンジできて、食卓に欠かせない食材です。冬キャベツは12～2月頃まで出回って葉が白く厚みがあり、煮込みに向きます。ビタミンCが豊富で、外葉にはカロテンも多く含まれています。胃腸の働きを助けるといわれるビタミンUも含まれています。

今年も皆様健康に過ごせますように私たち栄養士も応援していきたいです。
糖尿病センター 管理栄養士 照屋ふさ子

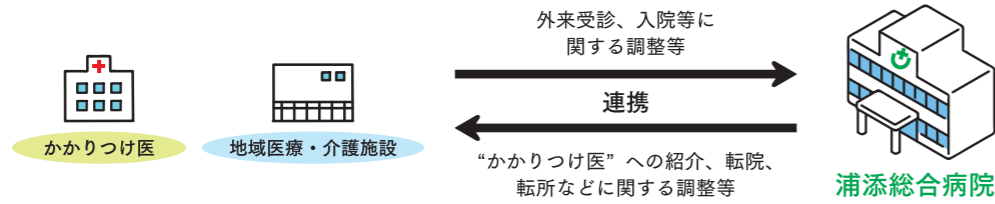
地域の医療機関との『連携』のご紹介

医院・病院の先生方や診療所・クリニックを開業された先生方には、あらかじめ当病院に「登録医」として登録をして頂いております。
患者様が、当病院で入院・治療・特殊な検査を必要とする時、登録医の先生と当病院の医師が、密に連携を図り継続した医療を提供しています。

お問い合わせ窓口

医療相談・医療連携支援室 **かけはし**
TEL 098-879-0630

地域医療連携（各施設がそれぞれの特性を生かし、地域全体で患者様の健康を守るシステム）



浦添総合病院の連携医療機関のご紹介

浦添伊祖皮膚科

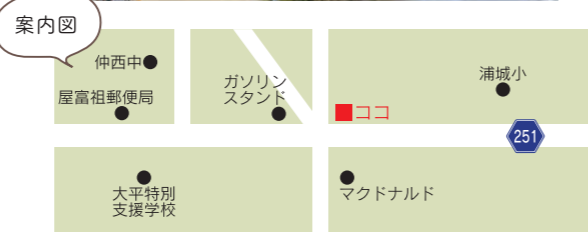
TEL:098-875-1177 FAX:098-875-1177

〒901-2132 浦添市伊祖2-1-3 メディカルブレイス伊祖3F

《診療科目》 皮膚科

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午前の部 8:50~12:00	○	○	○	○	○	○	/
午後の部 13:50~17:00	○	○	/	○	○	/	/

●休診日:水曜土曜午後、日曜祝日



令和3年9月に開業致しました。アトピー性皮膚炎、乾癬、巻き爪、外来手術など皮膚科一般の診療をしております。日中に来られない患者さん用に平日夜間オンラインによる診療も行っています。紹介患者さんが増えてくると思います。何卒宜しくお願い致します。



院長 園崎哲先生

サンパーク胃腸内科クリニック

TEL:098-878-3511 FAX:098-878-3512

〒901-2132 浦添市伊祖2丁目1-3 メディカルブレイス伊祖5F

《診療科目》 内科、胃腸内科、消化器内科

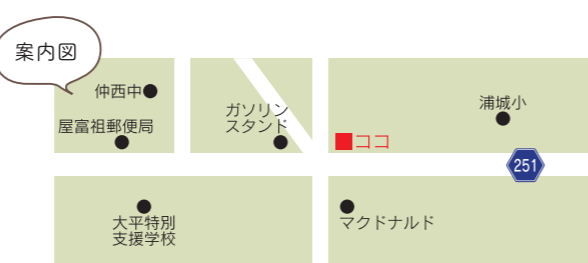
受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午前の部 火-土 9:00~13:00 月曜 7:00~11:00	○	○	○	○	○	○	/
午後の部 火金土 15:00~17:00 月曜 13:00~16:00 水曜 16:00~20:00	○	○	○	/	○	○	/

●休診日:木曜午後・日曜・祝日・年末年始(12/30-1/3)

消化器内視鏡検査に最も力を入れておりますが、身近な地域のかかりつけ医としてあらゆるお身体のお悩みに対応出来るよう、職員一同日々研鑽を積んでおります。また皆さまの健康長寿のお役に立てるような自費診療部門もございますので、お気軽にご相談ください。



院長 山城惟欣先生



浦添総合病院

外来診療案内

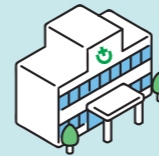
	受付時間	診療時間
午前	8:00 ~ 11:00	9:00 ~ 12:30
午後	12:00 ~ 16:00	14:00 ~ 17:00

※土曜午後・日曜・祝日は休診となっております

外来診療表はこちらからご覧ください



救急外来は **24時間365日** いつでも診療しています



紹介状を持参しないで受診される患者様に対しては、「初診時選定療養費」として5,500円を徴収させて頂いております。

また、他の医療機関へのご紹介を申し出た後も、当病院での診療を希望し受診される患者様に対しては、「再診時選定療養費」として2,750円を徴収させて頂いております。



在宅総合センター

短時間通所 リハビリテーション

短時間通所リハビリテーションでは半日だけリハビリを行いたい方、朝起きるのが苦手な方、少しずつデイケアに慣れたい方など、ライフスタイルに合わせて利用が可能です。利用時間は下記の通りです。

午前の場合	午後の場合
○送迎 ○昼食	○送迎 ×昼食
① 9:15 ~ 12:45 ② 10:15 ~ 12:45	① 13:30 ~ 15:00 ② 13:30 ~ 15:45

ライフスタイル

に合わせたリハビリを提案します！



【お問い合わせ先】

アルカディア通所リハビリテーション
TEL:098-878-1675 担当:儀間・中村・比嘉

在宅総合センター

介護老人保健施設 アルカディア

介護老人保健施設とは……
日常生活に介護を必要とされる方の心身機能の維持回復をはかり、その方に応じた看護・介護・リハビリテーションなどを提供し、3カ月間で自立及び在宅復帰を支援していく施設です。

このような相談に対応します♪



その他、短期入所(ショートステイ)では1泊からのご利用もできます。

【お問い合わせ先】

介護老人保健施設 アルカディア
TEL:098-879-1000 担当:安里・鈴木・桃原



浦添総合病院

〒901-2132 浦添市伊祖四丁目16番1号

TEL:0120-979-706 (予約センター)

TEL:098-878-0231 (代表)



浦添総合病院健診センター

〒901-2132 浦添市伊祖三丁目42番15号

TEL:0570-010-986



在宅総合センター

〒901-2132 浦添市伊祖四丁目16番1号

TEL:098-879-1000 (代表)

- 介護老人保健施設アルカディア
- 訪問リハビリテーションアルカディア
TEL:098-879-1000
(上記2事業所共通)
- 通所リハビリテーション
- ヘルスアップステーションうらそえ
TEL:098-878-1675
(上記2事業所共通)
- ヘルパーステーションらくだ
TEL:098-870-1026
- 浦添市地域包括支援センターみなとん
TEL:098-876-3710
- 浦添市地域包括支援センターさっとん
TEL:098-877-3103
- つるかめ訪問看護ステーション
TEL:098-877-0645
- ことぶき指定居宅介護支援事業所
TEL:098-875-4165

- 浦添市事業所内保育事業認可保育園 もこもこ保育園 TEL:098-878-7171
- 内閣府所管企業主導型保育事業 にこにこ保育園 TEL:098-878-5223

仁愛会の理念

- 地域住民のニーズを満たす保健・医療・福祉
- 信頼と人間性豊かな保健・医療・福祉
- 働き甲斐のある職場
- 仁愛会の職員であることが誇れる企業